

# 第22回海洋開発シンポジウム(網走オホーツク'97)の開催について

1997年6月25日[水]—27日[金]

下記により第22回海洋開発シンポジウムを開催致しますので、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

**主催**——(社)土木学会(担当:海洋開発委員会)  
**後援**——(社)寒地港湾技術研究センター、(財)港湾空港建設技術サービスセンター北海道支部、北海道港湾建設協会、網走建設業協会、北海道ポートエンジニアリング協会

**期日**——1997年6月25日(水)~27日(金)の3日間  
6月25日(水)~26日(木) シンポジウム  
6月27日(金) 見学会(後述)

**場所**——網走セントラルホテル(網走市南2条西3-7 TEL 0152-44-5151)  
第1会場~第3会場:網走セントラルホテル  
第4会場:網走建設会館(2日目午前のみ)  
(交通)○JR網走駅下車徒歩10分

○女満別空港より網走市内行きバスにて日本エアシステム前

**論文集**——当日会場で実費頒布致します。(8,000円)

**参加方法**——当日会場で参加費2,000円をお支払いの上、ご参加下さい。(事前申込は必要ありません。)

**問合せ先**——土木学会研究事業課(担当:藤崎)  
TEL:03-3355-3559 FAX:03-5379-0125

**プログラム**——1論文15分(発表10分、討議5分)

## 第1日目[6月25日(水)]

### 第1会場

9:00~9:10 開会挨拶 海洋開発委員会委員長 佐伯 浩  
潜堤・人工リーフ 司会:酒井哲郎(京都大学)

9:10~10:40

- (1) 大潮差海域における幅広潜堤に用いる被覆ブロックの開発  
九州産業大 ○奥蘭英明・阿部孝行・矢島昭弘・我原弘昭
- (2) 潜堤天端高さ選定と潮流変動について  
九州産業大 ○岡本弘司・奥蘭英明
- (3) 高天端潜堤の建設と周辺の生物相の変化  
北海道開発局 ○谷野賢二・山本泰司・明田定満  
テトラ 綿貫 啓・長谷川厚・田中則男
- (4) サーフィン共存型潜堤およびリーフ周辺の波浪特性  
徳島大 中野 晋・○高田康史・三井 宏、ニュージエック 三島豊秋
- (5) 新しいタイプの人工リーフ堤体の水理特性に関する研究  
大阪市大 ○角野昇八・佐々井伸行、東洋水産 遠藤正男
- (6) 人工リーフと縦型傾斜式離岸堤の水理特性の比較について  
横浜国立大 合田良実・○高木泰士

10:40~10:50 休憩

棧橋・岸壁・水中ロボット 司会:関田欣治(東海大学)

10:50~12:20

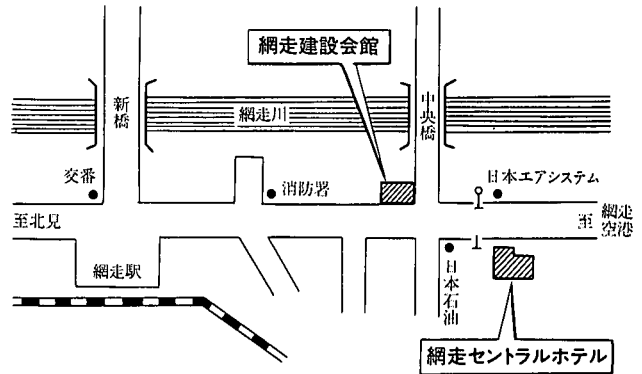
- (7) 外洋性シーバース運用の安全性向上および運用支援システムに関する基礎的研究  
神戸商船大 久保雅義、郵船海洋科学 津金正典・  
○笹 健児、横浜ゴム 成田豊隆・柳原繁樹
- (8) 根入れ式鋼板セル構造による耐波強化岸壁の建設  
運輸省第三港湾 松永康男・木村 博、りんかい建設 ○橋爪浩二  
・星加 嗣、住友金属工業 松田 章・湯川雅之
- (9) 重力式岸壁の地震被害と耐震設計法について  
北日本港湾コンサルタント ○大塚夏彦、  
北海道開発局 栗田 悟・笹島隆彦・宮部秀一、北海道大 三浦均也
- (10) 杭式棧橋の耐震性評価  
東京ガス 小松原徹、東亜建設工業 白木勝之・浅沼丈夫
- (11) 外洋シーバースの運用24年を踏まえた設計の評価  
鹿島 山本治生・多田 茂、出光エンジニアリング 大岸征二
- (12) 歩行式水中調査ロボットによる海底面凹凸測定  
○運輸省港湾技研 ○秋園純一・田中敏成・剣持知浩・佐藤崇治・中川勝榮

12:20~13:20 昼食・休憩

海域利用策と委員会報告 司会:佐伯 浩(北海道大学)

13:20~15:20

- (13) プレジャーボートを活用した海洋性レクリエーション施設の新たな整備計画手法の提案  
運輸省 ○嶋倉康夫・伊藤博信
- (14) 環境と共生する港湾をめざして~三河湾における人工干潟造成の取り組みについて~  
運輸省 ○酒井浩二・馬場孝博・伊藤和央



- (15) 人工島の開発状況について 運輸省 ○平澤充成・平尾謙雄・齋田和成
- (16) 水面下空間を活用した海上発電所の必要性と課題  
東京電力 ○川村哲也・佐藤宏通・興野俊也・河代 明・宮本幸治
- (17) 底生生物への大規模埋め立ての影響 京大 酒井哲郎
- (18) 「海の目」なぎさ観察会の今後の展望  
建設省土研 宇多高明、鹿島 棚瀬信夫、  
葉山しおさい博物館 池田 等

- (19) オホーツク海のニゴリについて 野生水族繁殖センター 廣崎芳次
- (20) 重油漂着現場から 鹿島 棚瀬信夫

15:20~15:30 休憩

パネルディスカッション「ナホトカ号重油流出事故と今後の課題」

15:30~18:00 司会:酒匂敏次(東海大学)・棚瀬信夫(鹿島)

- パネリスト** 運輸省第一港湾建設局 塩見雅樹  
海洋科学技術センター 段野州典  
福井県立大学生物資源学部 中村 充  
越前松島水族館 石橋敏章  
水産庁研究部 (未定)

## 第2会場

境界要素法・長周期波 司会:山本治生(鹿島)

9:10~10:40

- (21) 構造物前面海域での入射波の多方向性の影響  
関西電力 ○目見田哲、京大 酒井哲郎
- (22) 境界要素法による不規則波の湾内静穏度解析  
北海道東海大 浜中健一郎・○三藤康一
- (23) 境界要素法における開境界条件と開口部近傍の波動場  
北海道東海大 浜中健一郎・○野村圭司
- (24) 矩形ステップ上の波浪の共振特性について  
横浜国立大 合田良実・○斎藤正文
- (25) 鹿島港における長周期波の長期観測  
運輸省港湾技研 平石哲也・藤咲秀可・○近藤充隆、  
運輸省第二港湾 佐藤恒夫・山口孝生
- (26) 湾内侵入過程の現地観測と統計値による来襲長周期波の特性の検討  
北海道開発局 ○湯美洋一・若山敏樹・國田 淳・関口信一郎・木村克俊、  
運輸省港湾技研 平石哲也、日本データサービス 川口 勉

10:40~10:50 休憩

波浪・流れ・潮汐 司会:小島朗史(運輸省港湾技術研究所)

10:50~12:20

- (27) フレキシブルシート周辺の3次元波動場解析と実験  
北見工業大 ○橋本孝治・佐藤幸雄、北海道東海大 浜中健一郎
- (28) 拡張型 Boussinesq 方程式に基づく波・流れ相互干渉の数値モデルの構築  
長崎大 ○Mohammad Mohiuddin・富樫宏由・余 錫平
- (29) 日本海養蚕場の内部波による沿岸輸送特性について  
北海道立中央水産試験場 ○瀬戸雅文、福井県立大 大竹臣哉・興野充一  
・中村 充
- (30) サーフィンゲレンデの特性とゲレンデ計画要件に関する研究  
東海大 ○石川仁恵・浅田和宏・酒匂敏次
- (31) 波の逸散現象を考慮した隅角物体まわりの波変形と作用力力の算定法  
愛媛大 中村孝幸、長崎市 ○井手善彦

- (32) デジタルデータによる潮位の自動平滑化処理システムの構築  
北海道開発局 瀧美洋一・石澤健志・國田 淳  
日本気象協会 ○西村修一・北原宏之
- 12:20~13:20 昼食・休憩  
浮体 司会: 太田英美(新日本製鐵)
- 13:20~14:50
- (33) 弾性梁状浮体の剛性が種別および断面力に及ぼす影響についての実験的研究  
運輸省港湾技研 ○白石 悟・石見 剛・米山治男  
日本港湾コンサルタント 近藤圭央
- (34) 航走波による係留小型船の動揺実測  
神戸商船大 ○斎藤勝彦, 長崎大 塩谷茂明, 広島商船高専 藤富信之
- (35) 超大型箱形浮体の波浪応答解析のための高次要素BEMプログラムの開発とその適用性について  
京都大 ○宇都宮智昭・渡邊英一・久保田明
- (36) フェンダー特性ならびに弾性変形を考慮した実規模浮体式橋梁の波浪応答解析  
京都大 渡邊英一・○宇都宮智昭・松村 卓  
日立造船 田中 洋, 大阪市 丸山忠明
- (37) 孤立波による浮体建造物の応答並びに係留索張力に関する水理実験的研究  
西松建設 ○高村浩彰・橋本 剛, 日本大 増田光一・宮崎 剛
- (38) 浮体橋梁の弾性応答解析法に関する研究  
鳥取大 ○上田 茂, 夢洲・舞洲連絡橋JV 岡 俊蔵,  
三菱重工業 熊本直樹・井上幸一・瀬戸秀幸

第3会場

環境・ミチゲーション 司会: 矢内栄二(東亜建設工業)

- 9:10~10:40
- (39) 開発地域の環境価値評価手法について  
日本海洋開発建設協会 石田省三, 大林組 菊地禎二,  
鹿島 ○阪東浩造
- (40) アメリカのミチゲーションの実情 日本海洋開発建設協会 石田省三,  
大林組 菊地禎二, 大成建設 ○勝井秀博
- (41) ランドサット画像を用いた内湾のクロロフィル分布の予測について  
—三河湾における実測結果との比較—  
豊橋技術科学大 ○青木伸一・東 信行・大林栄正,  
東三河地成研究センター 戸田敏行, 運輸省第五港湾建設局 中塚和嘉
- (42) 超大型浮体式海洋構造物の環境影響評価に関する実海域計測  
日本鋼管 ○磯崎総一郎, メガフロート技術研究組合 肥海昭男,  
住友重機械工業 高田 純
- (43) 閉鎖性浅海沿岸域における環境創造  
東京都 ○和野信市, 日本ミクニヤ 市村 康
- (44) ミチゲーションの概念を導入した海岸事業のあり方について  
建設省 ○佐藤 浩, リバーフロント整備センター 上野 久

10:40~10:50 休憩

環境・生物(1) 司会: 鹿島遼一(電力中央研究所)

- 10:50~12:20
- (45) 生態系モデルを用いた東京湾夏季の水質シミュレーション  
鹿島 ○田中昌宏・稲垣 聡
- (46) 波浪による海底地形の変動に対するウバガイの行動特性と減耗に関する実験的研究  
北海道立中央水産試験場 ○櫻井 泉・瀬戸雅文
- (47) 二枚貝増殖場造成のための離岸潜堤の水理的検討 電力中研 長谷川寛
- (48) 防波堤がもつヤリイカ産卵機能に関する研究  
北海道開発局 谷野賢二・山本泰司・北原繁志・大村高史,  
エコニクス ○斎藤二郎, 日本データサービス 鳴海日出人
- (49) 藻類の成長に影響する環境要因の研究  
北日本港湾コンサルタント ○桑原伸司・大塚夏彦, 北海道 松山恵二,  
北海道開発局 谷野賢二・北原繁志
- (50) 親水空間としての潮干狩り場造成における留意点について  
北海道開発局 ○阿久津孝夫・谷野賢二, 西村組 山田俊郎

12:20~13:20 昼食・休憩

環境・生物(2) 司会: 坪田幸雄(水産庁)

- 13:20~14:50
- (51) 密養施設一体型ケーンソンの開発—ウニの高密度飼育を事例として—  
北海道開発局 ○北原繁志・谷野賢二・伊東公人,  
北日本港湾コンサルタント 清野克徳・桑原伸司
- (52) ホッケイエビ生息藻場形成条件  
北海道立中央水産試験場 瀬戸雅文・櫻井 泉,  
北海道大 ○江幡恵吾・松岡 学・山下俊彦
- (53) 二枚貝の流体力特性に関する研究  
北海道立中央水産試験場 ○瀬戸雅文・櫻井 泉,  
北海道大 江幡恵吾・梨本勝昭

- (54) 海底空間有効利用のための海底設置型生育システムの実海域実験  
海洋科学技術センター ○古山裕喜・大澤弘敬・鷲尾幸久,  
山形県 平野 央・田鎖光雄・有川正彦
- (55) 流動場でのホタテ貝の挙動に関する実験的研究  
北海道大 山下俊彦・○星 秀樹・和田 彰,  
北海道立中央水産試験場 櫻井 泉・瀬戸雅文
- (56) 振動流場でのウバガイ稚貝の潜砂に関する実験的研究  
北海道大 山下俊彦, 建設技術研究所 ○和田 彰,  
日本データサービス 鳴海日出人,  
北海道開発局 瀧美洋一, 北海道立中央水産試験場 櫻井 泉

第2日目(6月26日(木))

第1会場

海洋コンクリート・施工法 司会: 友広 勲(大成建設)

- 9:10~10:40
- (57) コンクリートの塩化物イオン透過性に及ぼす混和材料の影響  
日本大 ○梅村靖弘・伊藤 稔・原田 宏
- (58) 32年間供用した海洋コンクリートの物理化学的調査  
北海道開発局 瀧美洋一・○若山義樹・國田 淳・関口信一郎,  
北海道コンクリート技術センター 太田利彦, 日鐵セメント 下林清一
- (59) TPP工法(Taisei Pipe in Pipe)による海底管の敷設  
東燃テクノロジー 福島啓三・東 靖人,  
大成建設 福井清正・○米山英明・村山一啓
- (60) Vブロック工法—沈埋トンネルの新しい最終継手—  
運輸省第三港湾 南兼一郎・梅山和成・梅野修一・○北出徹也
- (61) 中古VLCCによる外海工事用仮設浮防波堤の開発  
東亜建設工業 佐藤英輔, 三菱重工業 ○池上国広・友井武人,  
日本作業船協会 工藤秀雄
- (62) 超重量放水口ケーソンの海上設置—川越火力発電所4号系列放水口の建設—  
中部電力 阿知波文夫・森 勝政・○高橋 正

10:40~10:50 休憩

施工法(1) 司会: 古川 潤(ポートコンサルタント)

- 10:50~12:20
- (63) トレミー管および全開バージによる投入土砂の堆積形状  
東亜建設工業 ○矢内栄二・横堀浩一, 鳥取大 松見吉晴
- (64) 二重式トレミー管を用いた土砂投入  
運輸省第二港湾 奥村研一・手塚 哲・高木幸夫,  
東亜建設工業 ○五明美智男・飯田 勲・矢内栄二
- (65) 東北電力原町火力発電所波力発電用ケーンソンの設計と施工  
東北電力 内海 博・大高昌彦・紺野秀博
- (66) 発電所の取水ピットに鉄筋コンクリート製ケーンソン構造を導入—橋野発電所における取水ピットの設計・施工と捨石基礎の計測—  
四国電力 亀田 進・塩野 明・○杉本達弘
- (67) 護岸工事に伴う海底浚渫土の高盛土陸上処分—橋野発電所土捨場工事における設計と施工—  
四国電力 末沢 等・○岡田英信・立川貴重
- (68) 先端杭底杭の沿岸域への適用性に関する一考察  
日本大 ○前野賀彦, 舞鶴工業高専 高谷富也,  
運輸省技研 高橋重雄・下迫健一郎

12:20~13:20 昼食・休憩

施工法(2) 司会: 作田岩穂(東亜建設工業)

- 13:20~14:50
- (69) ケーンソン吊り筋の応力特性と設計方法について  
北海道開発局 平野誠治・和田忠幸,  
寒地港湾技術研究センター ○田中輝未,  
北日本港湾コンサルタント 大塚夏彦
- (70) 作業船を使わず陸上から橋脚・岸壁工事の施工を可能にした地震被災岸壁の復旧工法  
鹿島 藤岡 陽
- (71) 簡易フローティングコンベアを使用した薄層まきだしの施工実績  
四国電力 岩原廣彦・武田啓二, 鹿島 田中鉄雄・○尾崎美伸,  
住友建設 池内純夫
- (72) 新海面処分場におけるMPD工法の施工—廃棄物処分場の増量対策を目的として—  
東京都 松田一也, 大林・大都・大豊・坂田建設共同企業体 大野統司,  
○浅賀雅彦, 大都工業 池畑伸一
- (73) ケーンソン据付時の動揺および索張力に関する現地調査  
東亜建設工業 ○堀沢真人・佐藤典之・滑川正倫,  
東電環境エンジニアリング 坂岡 茂, 東京電力 矢口真光
- (74) 鋼管杭とプレキャストブロックの一体連結構造による岸壁の復旧  
運輸省第三港湾 松永康男・木村 博

東洋建設 平野 功・角谷竜二、飛鳥建設 高木健司・岡 幸夫

14:50~15:00 休憩

海洋土質 司会：奥村樹郎(岡山大学)

15:00~16:30

- (75) 沖積海底地盤における地盤物性値の空間変動特性とその評価  
防衛大 ○宮田喜彦・木暮敏二・溝畑武生
- (76) K<sub>0</sub>圧密三軸圧縮・伸張強度特性に及ぼす試料の乱れの影響  
防衛大 正垣孝晴・丸山仁和
- (77) 液状化状態での地盤内応力の波浪応答に関する実験的検討  
徳島大 北野利一・中野 晋・高橋 努・溜本弘樹、  
西松建設 ○大村史朗
- (78) 変動水位による砂地地盤内の間隙水圧と液状化への層厚の影響  
北海道大 山下俊彦・南村尚昭、北海道開発局 阿久津孝夫・谷野賢二
- (79) 潮位変動を受ける杭基礎の支持力特性について  
舞鶴工業高専 ○高谷富也、日本大 前野賢彦
- (80) 笠岡粘土に対する45mmサンプラーの適用性と試料の品質  
防衛大 正垣孝晴・白川修治、東亜開発 須藤剛史

16:30~16:40 休憩

地震・津波・音 司会：原田 宏(日本大学)

16:40~18:10

- (81) 水中浮遊式トンネルの地震動揺特性について  
大成建設 ○蟹江俊仁、北海道大 藤澤憲吉・三上 隆・角田典史雄
- (82) 有限な水盤で周辺を覆われた水海域構造物の地震動水圧特性  
潜水建設 清川哲志
- (83) 漁港漁村における防災情報伝達に関する一考察—地震・津波に強い町づくり—  
水産庁 長野 章・西 裕司・岡 貞行・橋詰知喜
- (84) 安全情報伝達施設の整備—津波の情報目は目と耳で、早く確実に—  
水産庁 橋詰知喜、  
漁港漁村建設技術研究所 福屋正嗣・鹿田正一・真野泰人
- (85) 北部九州の沿岸域における音環境の快適性に関する基礎的調査  
九州共立大 片山正敏
- (86) 潜水構造物より発生する波動音圧に関する実験的研究  
名古屋大 水谷法美・金 俊圭・鈴木 篤・内藤耕治・富田孝史  
・岩田好一郎

閉会挨拶 海洋開発委員会副委員長 原田 宏

第2会場

浮体・流れと波動場 司会：宮崎武晃(海洋科学技術センター)

9:10~10:40

- (87) TMDを用いた浮体の動揺軽減特性について  
熊谷組 大本晋士郎・新田良典
- (88) 海域締切り工事における流れの数値解析と施工検討  
中国電力 平岡順次・澄川 健・中下明文、  
フジタ 田坂友次郎・北崎義隆・永瀬恭一
- (89) 振動流中に置かれた円柱の渦励振動量について  
防衛大 ○林建二郎・田中克也・重村利幸・藤間功司
- (90) 潜堤のある波動場での流速振幅の場所的変動  
長岡工業高専 ○吉田 茂、長岡技術科学大 早川典生・細山田得三
- (91) 透過性構造物による波浪変形実験におけるレイノルズ数の影響  
大阪工業大 ○井田康夫・小林 悟・萩原照典
- (92) 破碎帯内の鉛直循環流場の数値シミュレーションに関する研究  
鳥取大 ○黒岩正光・野田英明・芳地康征

10:40~10:50 休憩

消波工・防波堤 司会：遠藤茂勝(日本大学)

10:50~12:20

- (93) 消波ブロック被覆型有孔堤の耐波設計法  
北海道開発局 ○山本泰司・木村克俊・谷野賢二・明田定満・関口浩二
- (94) 消波工を有する緩傾斜埋立護岸の越波特性に関する実験的研究  
運輸省第五港湾 片平和夫・笹田 彰・中井 章、  
玉野総合コンサルタント 森川高穂
- (95) 波による消波ブロックの振動に関する実験的研究  
名城大 伊藤政博
- (96) 半円型消波ケーソンに作用する衝撃波圧について  
大豊建設 ○多田三三男、鳥取大 木村 晃
- (97) 消波型高基混成堤の越波特性  
運輸省港湾技研 高橋重雄・下迫健一郎・齊藤祐一・三浦裕信  
・姜 閔求
- (98) 防波堤堤体の設計における不確定要因が被災遭遇確率に及ぼす影響  
運輸省港湾技研 ○河合弘泰・平石哲也、五洋建設 関本恒浩

12:20~13:20 昼食・休憩

波浪制御 司会：田中則男(テトラ)

13:20~14:50

- (99) 二重堤の越波計算法について  
北海道開発局 山本泰司・水野雄三・鈴木孝信・笹島隆彦、  
日本データサービス ○松本英明、西村組 桑原幸司
- (100) 波浪侵入抑止ゲートの開発  
東急建設 ○加藤雅也・小田健次・  
渡会英明、西田鉄工 村田 優・塚田景一
- (101) スラミング現象を利用した浮体式反射波低減工について  
愛媛大 ○中村孝幸、国土総合建設 矢原崇光、復建調査設計 河野 徹
- (102) 波浪制御に及ぼす薄鉛直堤周りの波・流れに関する実験的研究  
日本大 ○落合 実・遠藤茂勝
- (103) 防波堤整備による長周期波抑止方策の検討  
北海道開発局 ○國田 淳・瀧美洋一・石澤健志・関口信一郎・木村克俊、  
運輸省港湾技研 平石哲也、日本データサービス 川口 勉
- (104) 上部スリット式護岸の越波および反射特性について  
関西電力 ○筒井勝治・八木典昭、ニュージエック 殿成浩司

14:50~15:00 休憩

河口処理・海浜変形 司会：吉川利夫(新日本製鐵)

15:00~16:30

- (105) 駿河海岸の侵食に伴う藤守・栃山川河口部の地形変化新河口処理方法の提案  
建設省土研 宇多高明、東海大 小菅 晋、  
三水コンサルタント ○松田 勝
- (106) 沿岸漂砂の卓越する海岸における暗渠型放水路吐口の設計上の留意点  
建設省土研 宇多高明
- (107) フロリダ海岸の現地踏査  
建設省土研研究所 宇多高明、アイ・エス・ユー ○山本吉道
- (108) 非対称河口砂州の形成に関する実態論的研究—安倍川河口を例として—  
建設省土研 宇多高明、東海大 ○小菅 晋
- (109) 空中写真から判読される湘南・西湘海岸の海岸特性  
建設省土研 宇多高明、日本建設コンサルタント ○加藤憲一・山形 宙
- (110) 波の遮断構造物建設に伴う周辺海岸の人工海岸化の原因とその防止策  
建設省土研 宇多高明、海岸研究室 芹沢真澄・三波俊郎・古井 鶴  
・エム・エー・シー 神田康嗣

16:30~16:40 休憩

海浜変形 司会：宇多高明(建設省土研研究所)

16:40~18:10

- (111) ポケットビーチの海浜形状に関する現地調査  
九州産業大 奥田英明・○得丸九郎
- (112) 海岸保全施設の改良・更新の実態および事例解析  
運輸省港湾技研 横田 弘・○松岡 知
- (113) 青森県野沢村鯛島海岸の崩落防止対策工の検討  
建設技術研究所 ○森山修一・原文宏
- (114) 海浜変形の実態調査と予測について  
北海道 高橋耕平・坂本 容・○安部隆一
- (115) 河口砂州周辺の海水侵食  
東北大 ○真野 明・非藤由親
- (116) ポケットビーチ型海浜の創生  
明石市 福田成男、鹿島 松岡英延・飯東浩造・○秋山真喜

第3会場

環境・気中塩分 司会：棚瀬信夫(鹿島)

9:10~10:40

- (117) アマモ場造成による生態系修復技術に関する研究  
鳥取大 ○松原雄平・野田英明・依藤正典
- (118) 振動流中のエゾバフウニ稚仔の行動と基質形状に関する一考察  
水産庁 町口裕二、パブリックコンサルタント ○山下卓也、  
北海道開発局 阿久津孝夫・谷野賢二、北海道大 南村尚昭・山下俊彦
- (119) 人工リーフにおける付着生物群集の形成過程  
秋田県 星野敏夫・猿田和博、アイ・エス・ユー 大谷靖郎・○橋本 新
- (120) 開放性砂浜海岸の港湾周辺におけるウバガイ分布特性と物理環境に関する研究  
北海道開発局 瀧美洋一・○石澤健志・國田 淳・谷野賢二・  
明田定満、日本データサービス 鳴海日出人、水産庁 中村義治、  
北海道大 山下俊彦
- (121) 北部九州の自然海岸地区における空気中海塩粒子の分布に関する計測調査  
九州共立大 片山正敏
- (122) 開放性砂浜沿岸域における飛来塩分分布特性に関する現地観測と数値計算による検討  
北海道開発局 瀧美洋一・若山義樹・國田 淳・  
関口信一郎、エスエス環境 ○佐藤勝春、東武計画 宮川論治

10:40~10:50 休憩

## 環境システム 司会：小田弘雄(大林組)

10:50~12:20

- (123) 漁村における生態系保全と環境社会システムの構造について—北海道羅臼町を事例として— 漁港漁村建設技術研究所 ○児玉いずみ・木田三次、エコニクス 小山康吉、水産庁 長野 章
- (124) アサリ標識放流試験による環境評価手法の開発 鹿島 ○越川義功・萩原清司・棚瀬信夫
- (125) 海水浴場の波と流れに関する現地調査例 運輸省港湾技術研究所 高橋重雄・鈴木高二朗・○岡村知光、マリナービーチ協会 坂本峻二、ライフセービング協会 小林雅彦
- (126) 石炭灰を利用した人工湧昇流流場の造成 ハザマ ○鈴木達雄、東京大 高橋正征
- (127) 生物との共生をめざした人工タイドプールの造成試案 関西大 井上雅夫・島田広昭・○柄谷友香・鉄川 精
- (128) 漂砂制御用人工海藻絨氈の開発 ヒロセ技研 ○坂田則彦、ダイワボウポリテック 大田黒誠、ケイコン 畑 実、大林組 林 秀郎、大阪市立大 小田一紀、愛媛大 伊福 誠

12:20~13:20 昼食・休憩

## 海水(1) 司会：伊藤喜栄(大成建設)

13:20~14:50

- (129) 海水の剪断強度及び付着力に関する研究 三井造船 ○松下久雄、三造試験センター 高脇 透、清水建設 竹内貴弘、大成建設 酒井雅史、パシフィックコンサルタンツ 寺島貴志、北海道大 本田秀樹・正木孝治・西知昭史・花田真州・佐伯 浩
- (130) 氷荷重に関する中規模野外実験における構造物と氷盤の相互作用について(その2) 清水建設 赤川 敏・河村宗夫・○竹内貴弘、大成建設 酒井雅史・青島正和・勝井秀博、三井造船 松下久雄、パシフィックコンサルタンツ 寺島貴志・中沢直樹、岩手大 平山健一、北海道大 佐伯 浩
- (131) 現地氷盤先端部の形状が氷力に与える影響に関する考察 清水建設 竹内貴弘・河村宗夫、北海道大 ○正木孝治・佐伯 浩、島田建設 成田恭一・斎藤隆行・西橋秀如
- (132) 寒冷地における港湾構造物近傍の氷盤の破壊状況について 北海道開発局 早川哲也、パシフィックコンサルタンツ 寺島貴志、西村組 ○山角浩一、オホーツク流水科学研究所 浜岡莊司、北海道大 西知昭史・佐伯 浩
- (133) 浮氷盤の耐荷力に関する実験的研究 北海道大 本田秀樹・○大島香織・河合孝治・正木 智・佐伯 浩、島田建設 成田恭一
- (134) サロマ湖内結氷氷縁部における流入流氷の運動に関する研究 北海道大 ○河合孝治・正木 智・原 文宏・大島香織・佐伯 浩、パシフィックコンサルタンツ 古屋温美

14:50~15:00 休憩

## 海水(2) 司会：森田康志(建設省)

15:00~16:30

- (135) 円断面杭に氷盤が衝突したときの氷盤の変形挙動 鹿島 花田真州、北海道大 ○山口建章・佐伯 浩、西村組 川合邦広、北海道開発局 早川哲也
- (136) 越水防止施設に作用する氷荷重の評価と設計 西村組 ○川合邦広・佐藤正樹、北海道開発局 早川哲也、北海道大 花田真州・佐伯 浩
- (137) 氷盤移動による鋼矢板の摩擦とその推定法 パシフィックコンサルタンツ ○寺島貴志、西村組 今泉 章、新日本製鐵 佐藤光一、北海道 中田克哉、北海道大 花田真州・佐伯 浩
- (138) 直立構造物に作用する鉛直方向氷荷重に及ぼす断面形状の影響について 北海道大 西知昭史・本田秀樹・佐伯 浩、西村組 川合邦広、島田建設 ○成田恭広、パシフィックコンサルタンツ 寺島貴志
- (139) 能取湖の海水の圧縮強度特性—強度分布と結晶構造との関係— 三井造船 ○松下久雄、三船試験センター 高脇 徹、岩手大 平山健一、北海道大 正木孝治・本田秀樹・佐伯 浩
- (140) 海水氷盤移動による石材の摩擦に関する実験的研究 鹿島 ○花田真州、北海道大 大島香織・氏平増之・山下俊彦・佐伯 浩、寒地港湾技術研究センター 福原功樹

16:30~16:40 休憩

## 海水(3) 司会：辰巳 勲(清水建設)

16:40~18:10

- (141) 二重潜堤砕石の流氷による安定性について エコニクス ○早川知子、北海道大 木下千里・渡部靖憲・佐伯 浩、西村組 佐藤正樹、北王コンサルタント 北村泰介

- (142) 海水強度の変動特性と構造物に作用する氷荷重に関する研究 北海道大 正木孝治・○本田秀樹・佐伯 浩、清水建設 竹内貴弘・河村宗夫、三井造船 松下久雄、大成建設 酒井雅史
- (143) 北海道の港湾、漁港における港内結氷の特性に関する調査研究 北海道開発局 水野雄三・坂本洋一・早川哲也、寒地港湾技術研究センター ○石川成昭、北日本港湾コンサルタント 金川 均
- (144) サロマ湖湖口部アイスプームに作用する氷力に関する研究 北海道開発局 関口浩二・遠山哲次郎、寒地港湾技術研究センター ○荒田 嵩、日本データサービス 清水敏晶
- (145) 中規模野外実験における構造物と氷盤相互作用時の氷盤歪領域に関する実験的研究 大成建設 ○酒井雅史・青島正和・勝井秀博、清水建設 竹内貴弘・河村宗夫、三井造船 松下久雄、三造試験センター 高脇 透、パシフィックコンサルタンツ 寺島貴志、北海道大 佐伯 浩
- (146) 戻り流れによる砂質底面の3次元侵食への影響と砂の巻き上げ速度について 北海道大 渡部靖憲・佐伯 浩・○森 憲広、建設省 稲垣 啓

## 第4会場

## 海浜変形・漂砂・他 司会：久保田進(日本大学)

9:10~10:40

- (147) 海浜断面地形と波浪との相互関係について クマシロシステム設計 戸巻昭三
- (148) 双副筒型サンドチューブ 日本港湾コンサルタント 高 隆二・○木村 弘、シバタ工業 今瀬順彦、りんかい建設 平山 久、水工ゴム 高橋順年
- (149) 人工前浜の締め固め強さと地形変化の観測 日本大 松村 健・大久保周一・竹澤三雄・久保田進
- (150) 地球化学元素を用いた漂砂調査手法に関する研究 真柄建設 ○熊谷幸博、金沢工業大 水村和正
- (151) 波動場中の底設構造物まわりの流況特性 大阪大 ○小野正順・出口一郎・久保田真一
- (152) マリーナ等に複数に係留された小型船舶に作用する風荷重の研究 東急建設 ○川口恵一郎・加藤信男・加藤雅也・仲倉道雄・上山美登里・栗田 剛

10:40~10:50 休憩

## 水中トンネル・生息環境 司会：佐藤慎司(建設省土木研究所)

10:50~12:20

- (153) 水中トンネルに作用する非定常流体力とその低減方法の評価(半回転式アクチュエータによる流動体特性) 室蘭工業大 ○飯島 徹・近藤俊郎・大島 修、北日本港湾コンサルタント 大塚夏彦
- (154) 空気放出型アクチュエータによる水中トンネルに作用する非定常流体力低減効果 室蘭工業大 飯島 徹・近藤俊郎・○佐藤晴尚、北日本港湾コンサルタント 大塚夏彦
- (155) 離散渦法を用いた水中トンネルの動的安定性に関する検討 鳥取大 神部俊一・○野田 稔・戸田茂之、駒井鉄工 巽 茂樹
- (156) 沿岸構造物の魚礁機能に関する研究—構造物周辺の魚介類、葉上・葉間生物相— 北海道開発局 谷野賢二・小野寺利治・小山征治・本間明宏・三橋嘉夫・黄金崎清人、日本データサービス ○鳴海日出人
- (157) 呼人漁港における傾斜板式防波堤の建設—魚介類の生息環境に配慮したPSR工法の採用— 北海道 青山和義・鎌田 彰・玉置淳二、アルファ水工コンサルタンツ ○林 克恭
- (158) 衛星リモートセンシングを用いた閉鎖性湾の流動シミュレーションの相似性確認手法に関する検討 長崎県 ○兵頭竜二、長崎大 後藤恵之輔・全 炳徳

## 懇 親 会

(1)日 時：6月25日(水)18:15~20:15

(2)会 場：網走セントラルホテル「鳳凰の間」

(3)参 加 費：4,000円

(4)申込方法：6月25日(水)9:30~ シンポジウム会場にてお申し込み下さい。

## 見 学 会

(1)日 時：6月27日(金)9:00~15:00

(2)場 所：網走市→網走南防波堤→サロマ湖防水施設→原生花園→オホーツク流水科学館→オホーツクタワー→女満別空港→網走市

(3)参 加 費：5,000円(昼食代を含む)

(4)申込方法：6月25日(水)9:30~ シンポジウム会場にてお申し込み下さい。(先着順、定員で締切ります)